オフィスビル

躯体蓄熱　温水器

全国労働者共済生活協同組合連合会 北海道本部

●札幌市白石区

組合活動のさらなる充実を目指し、安心・安全な拠点事務所を建設

【贈呈理由】躯体蓄熱式空調システムにより、夏期は25%、冬期は17%のピーク電力削減を達成

全労済北海道会館

ヒートポンプ室外機

全国労働者共済生活協同組合連合会(以下、全労済)は、営利を目的としない保障共済事業を行う生活協同組合として、民主的な運営で組合員やその家族の暮らしに「安心」を届けている。

全労済では結成50周年(2007年9月)を機に原点に立ち返り、この50年で培われた全労済の精神と、これからの50年を大事にする精神を再認識する「全労済の理念」を、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」と制定した。この理念を基本にして活動を展開している。

札幌市の緑化計画に協力

全労済には北海道の事務局として「全労済北海道会館」が設置されていたが、組合活動のさらなる充実および組合員の新たな拠点確保を目的に旧来の会館を建て替えて新会館の建設を進めた。

建設にあたっては、『安心・安全な拠点事務所の建設(人・街・環境にやさしく、地域に親しまれる施設の建設)』をテーマとした。また、札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づいた緑化計画に協力した。

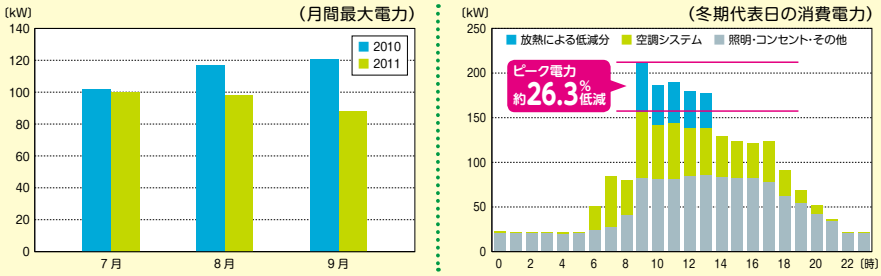
CASBEEのAランク評価を取得

建物は基礎免震構造で、外壁は「外断熱」「断熱サッシ」「Low-Eペアガラス」を採用することにより、ペリメーターゾーン(外壁際部)の空調負荷低減を図っている。

空調方式は、天井裏に設置した切り替えダンパーにより夜間に建築躯体(コンクリートスラブや梁)に冷温風を吹き付けて蓄熱させ、昼間の空調熱源として利用する「躯体蓄熱式空調システム」をインテリアゾーン(室内部)に導入することで、室内の上下温度差を小さくする配慮をし、快適性をあげるとともに空調のピーク電力削減を実現している。躯体蓄熱式空調システム導入による効果は、夏期は25%、冬期は17%のピーク電力削減となった。

全労済北海道会館は躯体蓄熱式空調システムと外断熱工法を併用することで熱流出を最小限に抑え、CASBEE(建築環境総合性能評価システム)札幌でBEE(環境性能効率)値2.1のAランクを取得した。

●ピーク電力削減効果



全労済北海道会館

所在地:北海道札幌市白石区菊水3条4-1-3
建築設計:㈱NTTファシリティーズ北海道支店
建築施工:鹿島・岩倉共同企業体
蓄熱設備設計:㈱NTTファシリティーズ北海道支店
蓄熱設備施工:日比谷総合設備㈱
延床面積:3,529㎡
竣工:2009年(新設)

●蓄熱設備概要
躯体蓄熱式空調システム　エコ・アイス(個別分散)
28kW×6台・40kW×1台〔三洋電機〕
電気温水器　20ℓ×5台〔TOTO〕